

**太平洋諸島フォーラム域外国対話における
堀井巖総理特使（外務大臣政務官）によるステートメント
9月7日，サモア独立国・アピア**

トウイラエパ首相，代表団の皆様，

まずは，この重要なフォーラムにて発言する機会をいただけることに関し，日本政府を代表して，深く謝意を表したいと思います。また，この会合の開催にあたりトウイラエパ首相の強いリーダーシップに敬意を表したいと思います。

豊かで，平穏で開かれた太平洋は，常に地域全体の平和と繁栄の礎であり続けてきました。これは，全ての者に対して自由で公正な秩序を確保する，海洋における法の支配という努力の末勝ち取った叡智によって可能になったものです。そして，日本と太平洋島嶼国以上にこの広大な海洋から恩恵を受けている国はありません。

しかしながら，この海洋は大規模な海洋環境の悪化や法執行の網の目をくぐり抜ける違法漁業といった，地域に対して永続的な影響を有する多方面からの挑戦によって，一層脅威に晒されるようになっていきます。この観点から，

地域の海洋におけるガバナンスの課題に取り組む P I F の取組を日本は歓迎します。

太平洋島嶼国との強い歴史的な繋がりを有する島国である日本は、自由で開かれたルールに基づく海洋秩序の維持、そして、海洋資源の持続可能な活用の実現を、地域における政策の優先事項として扱い、我々のパートナーと手を取り合って協力していく決意です。

特に、日本は、相互に密接に関連する以下の3つの側面における取組に焦点をあてます。

- (1) ルールに基づく海洋秩序の強化及び法執行を強化するための海洋安全保障・海上安全面での能力構築
- (2) 海洋資源の持続可能な活用
- (3) 海洋環境の維持・保全

これらの取組を進める上で、我々は、太平洋島嶼国における持続可能な発展を実現するというゴール並びに S D G 1 4 及び国連海洋会議の成果に十分留意する考えです。

来年5月に我々は、第8回太平洋・島サミットを主催します。そして日

本政府としてはこの機会を掴むことにコミットしています。我々は、これまで述べた取組に関し重要な前進を達成するため利用可能なあらゆる政策ツールを動員するために努力を惜しむことはありません。またその際には、長きにわたるパートナーとして太平洋島嶼国の声及びニーズに耳を傾けます。

我々が共有する未来は、我々が大切にすることの海洋の未来と密接不可分に結びついており、今後何世代にもわたって豊かで開かれた持続可能な海洋を保護するために協力する強い動機があります。我々は、この重要な大義に向けて前進するため我々のパートナーと協力することを楽しみにしています。

ご静聴ありがとうございます。